

廃棄物のリサイクル事業による地域循環型社会の構築

## 上越バイオマス循環事業協同組合

「バイオマスタウン構想」の拠点として、各種廃棄物のリサイクルを事業化し、地域循環型社会を構築。行政の生ゴミ処理費用や下水汚泥処理費用などの節減にも貢献

所在地：〒942-0143 上越市頸城区下三分一 1-25 電話番号：025-539-1733

FAX番号：025-539-1718 設立：平成11年12月 出資金：8,000千円

組合員数：8人 組織形態：異業種連携組合 地区：妙高市、上越市

主な事業：有機質肥料製造業、肥料・飼料卸売業、耕種農業他

組合専従者：8人 URL：<http://www.jbc.joemate.co.jp/>

### 背景と目的

益々増大する廃棄物を、その特性に応じて有効にリサイクルすることが地球環境にとって重要な課題である。これに積極的に取り組むことで地域循環型社会を構築することが可能であり、地域の中小企業者の新たなビジネスチャンスにもなるとの認識により、当事業に取り組むこととなった。

平成17年に上越市が策定した「バイオマスタウン構想」が農林水産省に事業認定された。これを機に事業を大幅に拡大し、いままでの堆肥に加えて可燃ガス、廃食油からのBDF及び木質ペレット燃料の生産を含めた事業を計画することになった。さらに、「バイオマスの環づくり交付金」により当組合が事業実施主体となり、平成19年6月21日に「一般・産業廃棄物処理施設設置許可」を受け、平成18年9月に各廃棄物処理、生産施設の建設に着手し、平成20年5月に竣工した。試験稼働を終了し、一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬業並びに処分業の許可取得後、平成20年10月から本格稼働する。

### 事業・活動の内容

面積約33,000平方メートルの敷地の延床面積約6,235平方メートルの工場内に生ゴミバイオガス化設備、下水汚泥感想設備、木質ペレット製造設備及びBDF施設を設置し、処理、生産を行う。

当施設の処理能力は、生ゴミ：42.2トン/日、下水汚泥：52.1立方メートル/日、木質ペレット：7.5トン/日、BDF：115リットル/日である。



## 成 果

---

最新鋭のシステムを具備した「バイマスタウン構想」の拠点として地域社会から認知され、社会的な評価を大きく高めることになった。また、森林組合からの間伐材等を受け入れ、ペレット化する協働作業を通じて農林分野との連携が強固なものとなり、将来の新たな事業展開の基礎を得ることができた。

また、他市町村、食品会社、学校関係等から多くの視察があり、各組合員は社会から高い注目度を実感でき、当事業が社会的なニーズに沿ったものであるとの実感を得ることができた。なお、上越市やスーパーなどとの受注契約が結ばれるにつれて、組合員企業の事業の将来性に対する期待が高まっていった。更に、地球環境の保全に止まらず、上越市のゴミ処理費用や下水汚泥処理費用の削減にも大きく貢献することになる。